

6年

算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 6年 / 数量関係 / 場合の数 / 理解シート

3つの部屋をおとずれる方法は、図(樹形図)でどう考えるの

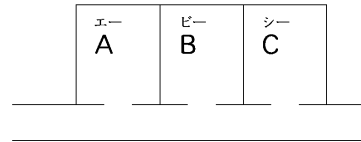


はじめの部屋をおとずれるときと、おとずれないときに分けて、図(樹形図)で考えると、重なりや見落としがなくなるよ。

1

下の条件で考えてみましょう。

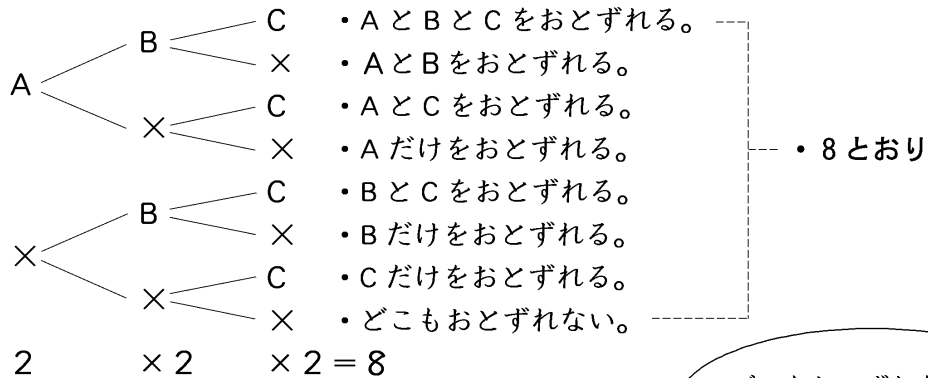
図のように、^{エー}Aから^{シー}Cまで、3つの部屋があります。
この3つの部屋を、Aの方から順におとずれます。
ぜんぶで何とおりのおとずれ方がありますか。



2

図(樹形図)で考えましょう。

・おとずれない部屋には、×を入れることにします。



2 × 2 × 2 = 8

3

ぜんぶの場合を考えましょう。

2 × 2 × 2 = 8 答え 8 とおり



〔もっと知りたい人へ〕 表や計算で考える方法もあります。

「3つの部屋をおとずれる方法は、表でどう考えるの」

「3つの部屋をおとずれる方法は、計算でどう考えるの」

も、見ましょう。